

山中比叡平

子ども図書館だより

2018年9月(第2号)

夏休み中も多くの利用、ありがとうございました。

夏休み中の

来館者は 子ども47人 大人55人

合計102人

本の貸出冊数は43冊 でした。

比叡平小学校PTAから 本を寄贈していただきました 大変ありがとうございます

- ①『呪いと魔術の謎』 並木伸一郎
ポプラ社 147 ナ
- ②『超ひっかけクイズ』 小野寺びりり紳
ポプラ社 798 オ
- ③『サンカクさん』 マック・バーネット文
ジョン・クラッセン絵 クレヨン・ハウス 933 バ
- ④『学研の図鑑Live 恐竜 BBCの(DVD付)』
芳賀靖彦 編 学研プラス 457 ヨ
- ⑤『給食番長』 よしながこうさく 好学社
913 ヨ
- ⑥『こんなにすごい日本国憲法 シリーズ1
憲法はこうして生まれた』 上田勝美 監修
かがわ出版 323 ウ
- ⑦『スイミー (英語でも読める)』レオ・レオニー作
谷川俊太郎訳 好学社 933 レ
- ⑧『上手になりたい マンガ超初級講座』
視学デザイン研究所 編 視学デザイン研究所
726 シ 1
- ⑨『ぶたのたね』 佐々木マキ 絵本館 913 サ
- ⑩『妖怪横町』 広瀬克也 絵本館 913 ヒ
- ⑪『落語絵本 まんじゅうこわい』 川端誠
クレヨン・ハウス 913 カ
- ⑫『まんがプラネタリウム 星座と神話』
藤井旭 監修 Gakken 440 ガ

これらの本は9月いっぱい「新着図書」
のコーナーに展示しています。もちろん
貸し出しもします。

10月からは各分類の本棚に並べます。
みんなの利用を待っています。

比叡平小学校図書委員からの 要望に答えます

いただいた図書に「6月4日図書委員会でのアンケート」(地域にある「子ども図書館」について 魅力をアップさせるにはどうすればよいか)というメモが添えられていました。(番号はこちらで加えたものです。)お答えします。

- 1 定期的に関いてほしい。
(平日にも開いてほしい)
- 2 クラスではやっている本を入れてほしい。
- 3 本をよむだけでなくイベントも開いてほしい。具体的にどんなイベントは?
(本の読み聞かせ、ゲーム大会など)
- 4 学校でプリントを配る。
- 5 マスコットキャラクターを作る。
- 6 『かいけつゾロリ』のような本をもっと置いてほしい。

- 1、子ども図書館は毎日曜および第4土曜日に開館しています。(グランドフェスティバルや文化祭など日曜日に学区全体の行事があるときは休みます。)
 - 2、どんな本がはやっていますか? 入れてほしい本ってどんな本
 - 3、冬休みには映画会を予定しています。どんな映画にするかはまたお知らせします。
 - 4、「子ども図書館だより」を毎月発行し、くばります。また、自治連のHPにのせています。
 - 5、どんなキャラクターがいいでしょうか。検討していきます。
 - 6、『かいけつゾロリ』シリーズは7冊あります。少しずつ増やしていきます。
- ②『きょうふのやかた』
 - ⑨『ママだーいすき』
 - ③④『なぞのまほう少女』
 - ③⑤『まほうのへや』
 - ③⑦『大どろぼう』
 - ③⑧『なぞのおたから大きくせん 前編』
 - ③⑨『おたから大きくせん 後編』



名作がいっぱい 「こどものとも」「たくさんのふしぎ」

子ども図書館には現在**2800冊以上**の本を寄贈していただいた。その中でも「**幼児向け教育絵本**」が充実しています。

『子どものとも』『たくさんのふしぎ』など。ほとんどが28ページ未満で、読んであげるにも、子ども自身が読むにも、すぐに読める月刊誌が**500冊**近くあるのです。

内容も「昔話」「童話」から「動物」「植物」「医学」、さらに社会科学に至るまで幅広い。文章もさし絵や写真も一流の執筆陣です。

たとえば、**児童文学のノーベル賞**といわれる「**国際アンデルセン賞**」を**今年受賞**された**角野栄子**さんも執筆者の一人です。子ども図書館には彼女の作品が5冊あります。

たくさんのふしぎ (051タ)

『魔女に会った』

こどものとも (051コ)

『ぼくしごとに行くんだ』

『クリスマスにはくつしたをおわすれなく』

『ぼくびょうきじゃないよ』

『サラダでげんき』

「角野さんは1970年の作家デビュー以降、映画化もされた「**魔女の宅急便**」シリーズをはじめ、200作以上の著書を刊行したほか、……初めて自分で読む幼年童話にも力を注いで来た。

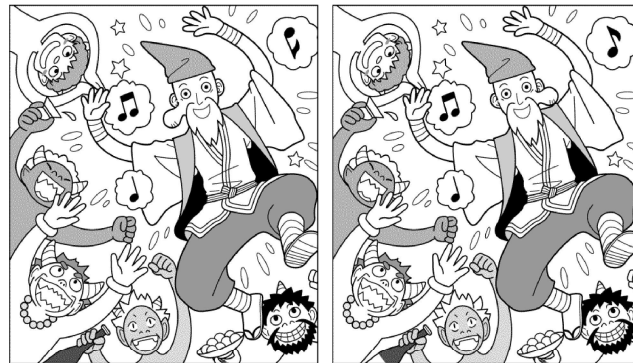
角野さんは授賞式でのあいさつで、第2次世界大戦中に10歳だったと振り返り、「あの過酷な時期を本によって、どれほど慰められ、生きる勇気を与えられたか」と述べた。



5歳で母を亡くし、泣いてばかりいたとき、父がひざの上で昔話を聞かせてくれ、物語が大好きになったエピソードなどを紹介。「物語は読んだ瞬間から読んだ人一人ひとりの物語になり、その人の言葉の辞書になっていく。その辞書から想像力が生まれ、人の世界を広げ、つらいときも助けてくれる」。

そして、絶えない争いや災害などを念頭に、「今は難しい時代」とした上で、「地域を越えて、物語には大きな力があると信じています」と語った。一朝日新聞デジタル(9月1日)より

小さい子どもさんのお気に入りの本がきっと見つかるはず。もちろん貸し出しも可能。ぜひ「**幼児絵本のコーナー**」に。



おにの楽しそうなえんかいに、いてもたってもいられなくなったおじいさん。陽気なおどりでおにたちも大喜び!

上の2枚のイラストには**5つのまちがい**があります。いくつみつけれられるかな?

おなじみのお話ですね。チャレンジしてみてください。解答と次の問題は次号(10月中頃発行の「図書館だよりNo.3」)で。また、子ども図書館内に掲示します。**自治連HP**にものせます。

本のさがし方 2

書棚にある本は、請求記号(ラベルの数字・記号)の順番通りに上の段から、矢印のように「左から右へ」並んでいます。学校図書館や公立の図書館でも同じです。

